

# With

ウィズセンター情報誌

INDEX

特集 伝統芸能を継ぐ

狂言師 十世 三宅藤九郎さん

- 「DV」ドメスティックバイオレンス  
～配偶者暴力相談支援センター半年の軌跡～
- 参画社会へLet's Go! ～邑久ライブフォーラム～
- 1市2町が男女共同参画都市宣言
- ウィズライブラリー

2002

11

vol.22





特集

# 伝統芸能を継ぐ 狂言師 十世 三宅藤九郎さん



## 【プロフィール】

祖父、人間国宝九世三宅藤九郎の名跡を15歳で継承し、16歳の時、国立能楽堂において襲名披露。海外を含め、年間200~250回の公演を行う。平成12年「女性狂言師協会」を姉と設立。青山学院初等部・中等部・高校卒業、青山学院大学卒業  
父：和泉元秀氏(1995年死去)、母：和泉節子氏  
姉：和泉淳子氏、弟：和泉流二十世宗家和泉元彌氏

おかやま新作狂言「桃太郎」

…はじめまして。写真どおりの方ですね。(いつも素顔なんですか?)

狂言はもともと神様に捧げる芸能として生まれたものですから、「素顔」で演じるのが特徴で、メイクアップはいっさいいたしません。舞台芸術で全くメイクアップをしないのは、多分世界で一つだけだと思います。普段お化粧をしていますが舞台のときはとらないといけなくて、普段からしない習慣がついてしまいました。(笑)

…なぜ古典芸能「狂言」の家に生まれたんだろう、と思ったことは?

姉弟3人ともそう思ったことは全くないですね。この家に生まれて良かったな~という部分の方が多いです。3人とも小さい頃から狂言が好きで、やり続けてこられたことは幸せなことだと思います。だから自然に大切にしよう、守っていこう、伝えていこうって思っています。

父はこういう世界では有名なスバルタでした。芸の上での厳しさは、相手を信頼していればこそですし、相手に期待があればあるほど厳しくなります。将来きちんとしたものをきちんと伝えようと思えば、厳しくならざるを得なかったということでしょう。

父の演じている姿を見れば、「これができるためには、稽古をきちんとやらなくちゃいけないんだ。」と幼くても感じていました。

…どんなご両親ですか?

稽古で泣いた時、母は「あなたはできる子だから、この家に神様が生まれさせたのよ。」と言って、とにかく前向き前向きにと育ててくれました。

父は「親に反発することがもしあったとしても、狂言に対してはいつまでも素直でいろ、素直でなくなったときに、自分たちの芸の成長が止まるときだよ。」「ウソと

か、本音と建前とかの距離をなるべく無くそう。外で取り繕っていい子でいる必要はない。内でしっかりやることができている外に行ってもきちっとできる。」ってよく言っていました。それぞれのご家庭の考え方は違うと思いますし、違って当たり前ですが、それがその人らしさをつくっていく基本的な部分だと思います。

…和泉家は女・女・男とお生まれですが、跡継ぎについて何かエピソードは?

父は、女の子でも男の子でも嬉しいと言っていたようですが、地方公演中に男の子誕生の知らせを受けて、みんなで祝杯をあげたそうです。祖父は、最初から母に「男の子を生んどくれ」と。一人目「女の子でした」と言う。「そうか」。二人目も女の子でした」と言う。「フーン」(大笑)。三人目の時「今度こそ男の子を生んどくれ」と言われて生まれた時には、2時間、部屋を歩き回って喜んだそうです。母は、楽道家なのでそんなに気にしてなかったようですが、10人生めばそのうち・・・ぐらい思ってたかも知れないですね(笑)。



…お父さんは、女の子であれ、男の子であれ、狂言を伝えていこうというお考えだったんですね。

「宗家は男子に限る」という決まりがありますが、演目の中に、子どもが出る「鞆猿（うつぼざる）」では女の子も舞台上立つことがあります。子どもというくくりが外れる7歳頃からだんだん女子は舞台上上がらなくなってきます。禁止する決まりはないんですが、こういう男性社会の中で「女の子に芸を伝えてどうなるんだろう？」という風潮はありましたね。

「男は仕事、女は家庭」という言葉がありますが、たまたま家業が狂言だったということで、この家に生まれて、私たちは父から男性と同じように修業の機会を与えてもらい、「男性と女性と同じようにやっていいんだ」といわれ、今もこうして芸を続けられています。

…十世三宅藤九郎襲名についてはどんなお気持ちだったんですか？

祖父の九世三宅藤九郎の名跡を「継ぐ」ということは、流祖が起こした流儀にいつの時代からか加わって芸を伝えていくということです。流儀全体の歴史は系譜で伝えていかないと認めていただけないということもあります。極端なことをいえば宗家というのは、「その流儀の人全員が止めてしまっても、お前だけは続けなくてはいいんだよ。」というのが「継ぐ」ということだと思っています。二十世宗家はそうやって育てられましたし、名取りではなく、家を継ぐ、家を守るということは必要なことだと思っていました。多分、祖父から見て「芸風」という点で私が一番近かったんだと思います。藤九郎という男性の名前だからというこだわりは全然ありませんでした。

…お姉さんと一緒に史上初の女性狂言師としてスタートされたわけですが……

平成元年11月、姉が20歳、私が16歳の時、女性狂言師として披露しました。

「女性が頑張る。じゃあ男性はいらないわ。」ではなくて、我が家は男女3人の姉弟なので、男性と女性が同じように演じるというやり方をしています。稽古をしっかり積んで、舞台上演じることが実績になりますし、自分の自信にもなります。舞台の上で得られる経験は稽古とはまた違ったものがあります。

国立能楽堂の定期公演の舞台上男性と同じように女性にも役が回るかということ、残念ながら今はまだそうではありません。「女性は女性で新作狂言をやっていればいい。」という意見もありますが、それだと狂言を伝統的なものとして残していくことは外れてしまいます。人材育成という意味からも本番の舞台上に女性を加えて欲しいと思います。

…狂言の将来はどうあるべきだと思いですか？

一昨年、姉と「女性狂言師協会」を立ち上げました。演者（趣味で狂言をやる方も含めて）も、舞台を見に来てくださる方も、いろいろな観点から「男性と女性とが同じように舞台上立つというのは当たり前だ」という意識を持ち、それを広く浸透していかなければならないという気持ちがありましたから。つまり、男女共同参画狂言を実現するというのでしょうか。（笑）

歴史は自分たちでつくっていかなければという意気込みで、日本の狂言を世界の狂言へと伝えていきたいと思っています。（聞き手：情報コーナー 池上清美）



狂言「櫛の酒」（姉の和泉淳子さんと）



# 「DV」ドメスティックバイオレンス

～配偶者暴力相談支援センター半年の軌跡～

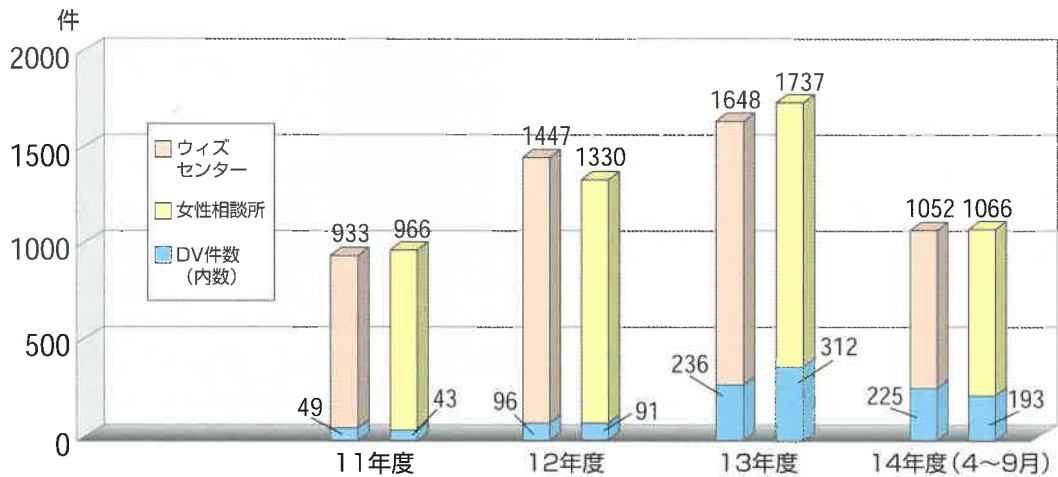
「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」いわゆるDV防止法が施行されて一年余り。これまで夫やパートナーからの暴力などの女性に対する暴力は潜在化しており、その実体は明らかになっていませんでしたが、平成11年に総理府（現内閣府）が実施した調査では、約20人に1人の女性が、



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

夫から「命の危険を感じるくらいの暴力」を受けたことがあると回答しています。そこで、DV防止法に基づき、今年4月1日から配偶者暴力相談支援センターに指定されているウイズセンター及び女性相談所におけるDVの相談状況等をご紹介します。

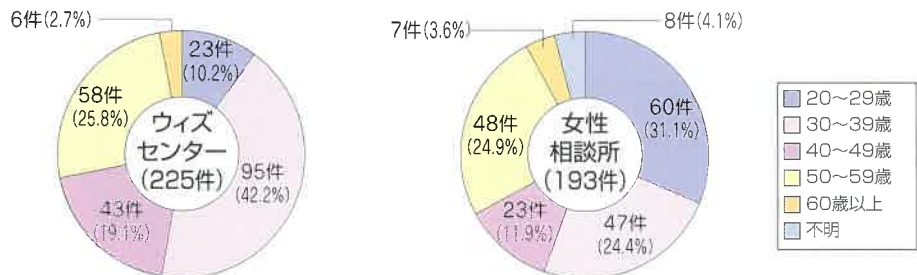
## 1 相談件数の推移



## 2 DV相談形態

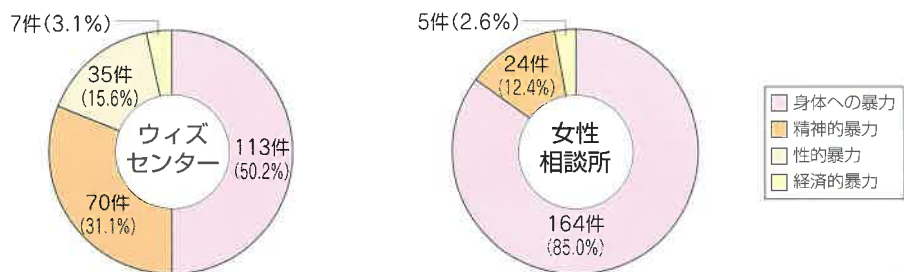
ウイズセンター	電話 144件	面接 81件	女性相談所	電話 88件	面接 105件
---------	---------	--------	-------	--------	---------

## 3 年齢別 DV相談件数



## 4 DVの主訴

身体的暴力と精神的暴力が複合する場合等がありますが、ここではそのうちの主たる暴力のみとしています。



## 5 保護命令の申立

被害者が行った、DV防止法に定められている保護命令（6か月間の接近禁止及び2週間の住居からの退去）の申立てに対して、裁判所から書面提出を求められた件数は、ウイズセンター1件、女性相談所3件となっています。

## ドメスティック・バイオレンス (DV)

広い意味では男性(夫)など家庭内で、女性、子ども、障害者等に加えられる虐待などをいうが、ここでは、夫婦や恋人など親密な間柄にある男女間において、男性から女性に加えられる身体的・精神的・性的な暴力を指す。

DVに限らず、女性に関するご相談はお気軽にウイズセンター (TEL 086-235-3310) または女性相談所 (TEL 086-243-0022) へ

# 参画社会へ Let's Go!

## 「誕生」そして「ネットワーク」づくりへ

すでに組織されていた女性団体を母体に、「邑久町女性フォーラム」を立ち上げたのは平成4年。しかし当時、男女共同参画はまだ受け入れられませんでした。男女が共に支えあう、豊かで住みよい町づくりのためには、他の団体とも交流を持ち、経験や情報を交換しなければ。そのためには・・・ネットワークづくり！平成9年「邑久町さわやかネットワーク」として、町内の他の団体とともに幅広い活動をしていくことになりました。

## 行政とのパートナーシップ

平成11年度から3年間、邑久町男女共同参画推進委託事業として、「生き生き講座」を実施。男女共同参画をメインにした講演会や、男性の積極的な家事参加を呼びかける『父と子のわくわくクッキング』など年間5～6回の講座を開催しました。この委託事業は、地域への意識啓発と同時に会員のエンパワーメントに大きな効果がありました。

行政と民間団体とのパートナーシップは、男女共同参画社会の実現のために欠くことのできないもの。今年「おく男女共同参画基本計画」が策定されましたが、会員のうち3名が公募で「邑久町男女共同社会問題懇話会委員」としてプラン作りに直接関わりました。

## 人形劇で啓蒙活動

邑久町では毎年、人形劇の祭典「喜之助フェスティバル」が開催されています。「人形劇をとおして、子どもにも大人にも、楽しくわかりやすく男女共同参画を訴えたい」という思いから会員有志で旗揚げした「ちょう・かえる」という思いから会員有志で旗揚げした「ちょう・かえる



ちょう・かえる一座の人形劇「おこった赤おに、ないた青おに」

瀬戸内の風光、吉井川の清流、千町平野など豊かな自然に恵まれた邑久町は、「竹久夢二」や世界的な人形師「竹田喜之助」を生んだ町としても有名です。この町で、男女共同参画社会の実現を目指してエンパワーメントしているグループ「邑久ライフフォーラム」（小林鈴代代表 会員31名）を訪ねました。

一座は今年2年目を迎えました。すべてが手作りの脚本・人形・衣装・小物・絵幕。メンバーそれぞれの特技や能力が存分に発揮されています。地元の喜之助フェスへの参加はもちろん、県内各地への公演回数も増えてきており、来年の喜之助フェスに向けてすでに、新しい脚本も出来上がりました。



明るくパワフルな邑久ライフフォーラム会員

## 地道な歩みで男女共同参画の道を

男女共同参画は、決して急激に進むものではなく、地道な活動を続けることで、一人ひとりの意識を少しずつ変えていくほかありません。もっともっと男性の意識を変えてもらいたい、男性にもぜひメンバーに加わってもらいたい、という思いから平成11年度には名称も「邑久町ライフフォーラム」に改称、さらに現在は「邑久ライフフォーラム」として活動しています。残念ながら、今のところ男性の加入はありませんが、会員の家庭では少しずつ変化が現れてきました。「女性が家事をするのが当たり前だと家事一切しなかった夫が、ごみ出しや、アイロンかけなどをしてくれるようになりました。」とにっこり。まず女性が意識を変えることにより、男性の意識も徐々に変わってきています。

「初めはこの会に違和感がありましたが、若い人たちの中で学ぶことで自分も随分若返り、おかげで男女共同参画実現をめざした良い社会を見ることができました。これからもますます磨きを掛けて輝いていきましょう。」立ち上げ当初からのメンバーで80歳の山本幸子さんの力強い言葉に、会員の皆さんから拍手が沸き起こりました。

（取材：情報コーナー 林 里美）



# 1市2町が男女共同参画都市宣言

市町村を挙げて男女共同参画社会の実現に向けた気運の醸成を図ろうと、今年度、玉野市、久世町、柵原町が「男女共同参画都市（まち）」宣言をしました。岡山県内の男女共同参画宣言都市（まち）は平成12年に宣言を行った倉敷市を含め、2市2町になりました。（平成14年4月1現在、全国80市町村が宣言）

## 男女共同参画都市宣言

美しい自然と豊かな文化に恵まれたわたしたちの玉野市は、男女の人権尊重をもとに、誰もがいきいきと自分らしく生きていくことのできるまちをめざして、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

玉野市

- 1 わたしたちは、人権及び性を尊重し、平等でいきいきと暮らせる「たまの」をめざします。
- 1 わたしたちは、ともに家庭的責任、社会的責任を担い、自立のもとに健康で生きがいがある「たまの」をめざします。
- 1 わたしたちは、多様な生き方が選択でき、社会のあらゆる分野に共同参画できる「たまの」をめざします。

平成14年9月20日

## 男女共同参画のまち宣言

久世町は古くから交通の要衝として栄え、商工業の発展とともに男女がみな元気で活力のある町です。私たちはこの町が平和で明るく住みよい町であり続けるために、お互いの人権と人格を尊重し合いながら、「自分らしくいきいきと暮らせる男女共同参画のまち久世町」に向けて次の実現を目指します。

久世町

- ・一人の人間として個性と能力を生かし自立する社会づくり
- ・子どもたちが夢をもって成長できる地域づくり
- ・社会や地域の慣習を見つめ直し、男女が心豊かに暮らせる町づくり
- ・平和な社会を願い、世界の友好に向けて行動できる人づくり

そして、ここに久世町を「男女共同参画のまち」とすることを宣言します。

2002年6月21日

久世町

## 柵原町男女共同参画都市宣言

わたしたちは、長い歴史とゆたかな自然にはぐくまれたまち、柵原の町民です。  
このまちに生きるわたしたちは、ひとりの人間として、性別にとらわれず、お互いを尊重し、だれもが心豊かに暮らせるまちづくりをめざし、ここに「柵原町男女共同参画都市」を宣言します。

柵原町

- － 男女がともに手を取りあって、男女共同参画をすすめ、喜びも苦労もわかちあうまち「柵原」をつくります。
- － 男女がともに手を取りあって、家事・育児・介護を支えあうまち「柵原」をつくります。
- － 男女がともに手を取りあって、仕事も家庭生活もいきいきと両立できるまち「柵原」をつくります。
- － 男女がともに手を取りあって、多様な生き方を認めあうまち「柵原」をつくります。

平成14年10月13日



## 日本女性会議2002あおもり リポート

10月4日（金）・5日（土）、「私は私を大切に思うのと同じ重さであなたを大切に思う」をテーマに、全国から約3千人が参加して「日本女性会議2002あおもり」が開催された。

初日は、13のテーマに関する分科会・ワークショップが企画され、その一つ「大昔の女性とみつける未来」では、岡山市在住の間壁 藤子氏（倉敷考古館学芸員）が担当。三内丸山遺跡内の大型竪穴住居での車座講義は参加者から大好評。夜は「ねぶたの里」で県産品を味わいながらにぎやかに交流。2日目は二会場に分かれ記念講演と全体会があり、最後に「私たちは、女らしさ男らしさといったらしさに縛られず、誰もが女だから男だからで判断しない。すべての人が主体的に生きられる社会を目指し、性別を越え、世代を越え、地域を越え、誰もが同じ重さの社会を構築する」と大会アピールが宣言され閉会した。

来年は滋賀県大津市（10月17・18日）で開催予定。



## ドメスティックバイオレンス根絶シンポジウムに100人

DV防止法の施行一周年を記念して、10月27日（日）ウィズセンターで「ドメスティックバイオレンス根絶シンポジウム」女性に対する暴力をなくするために～被害者支援から見えてくるもの～を開催。

塚本千秋岡山大学教育学部・教育実践総合センター助教授をコーディネーターに、3人のパネリストが出席。被害女性のための緊急避難所FTCシェルター代表の平川和子さん、自らもDV被害者で女性ネット「Saya・Saya」共同代表の野本律子さん、メンタルサービスセンター代表の草柳和之さんが、被害女性のための避難所（シェルター）の果たす役割の重要性やDV防止法の充実整備の必要性、加害男性の暴力克服に向けた支援方法等について話し合い、約100人の参加者は真剣に耳を傾けていた。



## 技術講習会

### ★パソコンと販売

パソコン (Word及びExcel) の基礎及び  
販売士3級受験コース

【期 間】1/14~2/14

【時 間】10:00~16:00

【場 所】ウイズセンター及びピーマックス2号館(岡山市)

【受付期間】12/10~12/14

### ★パソコン初級

パソコン技士(表計算部門)3級受験コース

【期 間】2/4~3/5

【時 間】10:00~16:00

【場 所】西日本電子計算学院第2ビル(岡山市)

【受付期間】1/14~1/18

受講資格：結婚・出産・育児・介護等家庭責任の分担  
を理由に離職し、再就職を希望する方で全  
期間出席できる方

受講料：無料(教材費は実費負担)

申込方法：受付期間内の9:30~16:30にご本人が  
ウイズセンターへお越しの上、お申し込み  
ください。

## 就職準備講座

【期 間】2/18~2/26

【時 間】10:00~15:00

【場 所】ウイズセンター会議室

【受付期間】1/21~2/1

### 内 容

- ・ビジネスセンスアップ講座
- ・知っておきたい社会保険と税金
- ・自己表現トレーニング
- ・リアリティセラピー
- ・資格の生かし方
- ・両立支援のための法律・制度
- ・ワークシート(適職発見編等)ほか



受講資格：就業可能で6日間出席できる方

受講料：無 料

申込方法：ハローワーク、市町村役場等に備え付けの所  
定の用紙でウイズセンターへお申し込みくだ  
さい。

読んでみませんか?『おすすめの本』

図書

## ウイズライブラリー

~ホットと一息 読書の時間~

### 「クライミング・フリー」

●リン・ヒル 小西 敦子 訳

●光文社

●2002年

フリー・クライミングとい  
う歴史は浅いが、男性優位の  
スポーツ界で、男女のバリア  
を打ち砕き、数々の難ルート  
を初登攀してきた驚異の女性  
クライマーの自伝的半生記。



### 「みちこの更年期ホップライフ」

●鈴木 みちこ

●自然食通信社

●2002年

「夫に閉経を何て伝えたらいいの? 「気  
力が出ないのはどうしたらいい?」更年期  
の深刻でトンチンカ  
ンな疑問と一緒にト  
ンネルにくぐりな  
がらあったか〜く  
お答えします。



### 「文壇アイドル論」

●斎藤 美奈子

●岩波書店

●2002年

書評・作家論からゴシップ記事に  
いたるまで周辺の膨大な資料を渉猟  
し、「一人の物書き」をアイドルに  
つくりかえる時代の背景に果敢に切り  
込む。



## 今月号の表紙 (平成13年度絵てがみコンテスト・ウイズ大賞受賞作品)



作 者：佐藤 常子(倉敷市)

作者の言葉：結婚して近くに住む娘宛に描きました。

講 評：こういう気持ちでいることが、良い関係を保ち続ける基本だと、し  
みじみ感じさせてくれる。絵のタッチも力強い。

(漫画家 里中満智子)





ウィズセンターは土・日曜日も開館しています。  
お気軽に、お越しください。

### アカペラ&コーラス ライブコンサート

- ・日 時：12月8日(日) 10:00~12:00
- ・場 所：ウィズセンター会議室 ・参加費：無料
- 〔出演〕 ☆しゃんそん'Z (進行役) ジェンダー漫才
- ☆AIRS "さっちゃん&ベッカム"
- ☆ヴォーカルフォーほか

※お申し込みは、電話、FAX、ハガキ、Eメールでウィズセンターへ

## ウィズセンターはこんなところ

男女共同参画社会とは、  
男女の人権が等しく尊重され、  
お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、  
いわば、女性と男性の  
イコール・パートナーシップで築き上げる  
バランスのとれた本当に豊かな社会です。  
ウィズセンターはこうした男女共同参画社会づくりを  
推進していくための施設です。

### 1 ほしい情報が手に入ります。

- 関係機関の情報誌の閲覧や、男女共同参画に関する図書・ビデオなどの貸出のほか、人材情報も提供しています。
- 就業に役立つ情報を提供しています。

### 2 相談ができます。

- 女性の相談員がさまざまな悩み事に耳を傾け、問題解決のお手伝いをしています。
- 就業に関するさまざまな相談に応じています。

### 3 学習できます。

- 男女共同参画のための各種講座を行っています。
- 再就職に役立つ技術講習会を行っています。

### 4 便利な施設が利用できます。

- 男女共同参画に関する県民のみなさんの活動を支援しています。
- 男女共同参画に関する活動の活性化と交流を深めるために、会議室、交流サロン、作業室などを提供しています。

## 利用者からの声

いつ来所してもパソコンが使えず残念。使用者の名前を記入した上で、一人30分間の利用として欲しい。誰もいないのなら何分使ってもいいと思うが・・・(30代女性)

### センターから

なるべく多くの方にお使いいただくため、インターネットの利用時間を、一人1時間以内に制限させていただきました。ご協力をお願いします。

みなさんのご意見を受け付けています。  
ハガキ・FAX・Eメールまたはセンターの提案箱へ

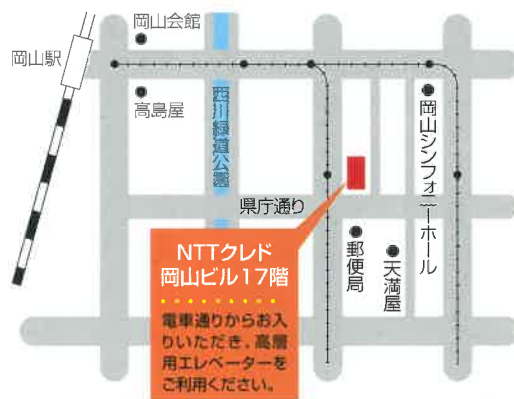
## 人権を尊重することが、 男女共同参画社会への 第一歩です。

最近では、インターネット上において、女性差別や部落差別、障害者差別等の書き込みがなされるなど、基本的人権の侵害が見受けられます。

私たち一人ひとりが男女共同参画に関する理解を深め、女性に対する差別や暴力のない社会、性別にかかわらずその個性と能力が十分発揮でき、喜びも責任も共に分かち合える男女共同参画社会を実現しましょう。

## ウィズセンター利用のご案内

- 開館時間 …… 火～土曜日 ● 9:30～20:00  
日・祝 日 ● 9:30～17:00
- 相談員による  
一般相談  
就業相談 …… 火～土曜日(祝日を除く) ● 9:30～17:00  
(受付は16:30まで)
- 特別相談  
(予約制) …… 弁護士による法律相談 ● 原則第2・4金曜日  
医師によるからだの相談 ● 原則第1土曜日
- 休館日 …… 月曜日及び年末年始
- 電 話 …… 086-235-3307(代表)  
086-235-3310(一般・特別相談)  
086-235-3309(就業相談)
- ホームページ …… <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>



- 交通案内 …… 岡山駅から徒歩10分  
バス●NTT岡山前下車すぐ  
天満屋バスターミナルから徒歩2分  
市内電車●郵便局前下車すぐ

ウィズ第22号(平成14年11月発行)

- 編集・発行  
岡山県男女共同参画推進センター  
〒700-0821 岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17F  
TEL(086)235-3307(代) FAX(086)235-3306  
Eメール:danjo@pref.okayama.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています